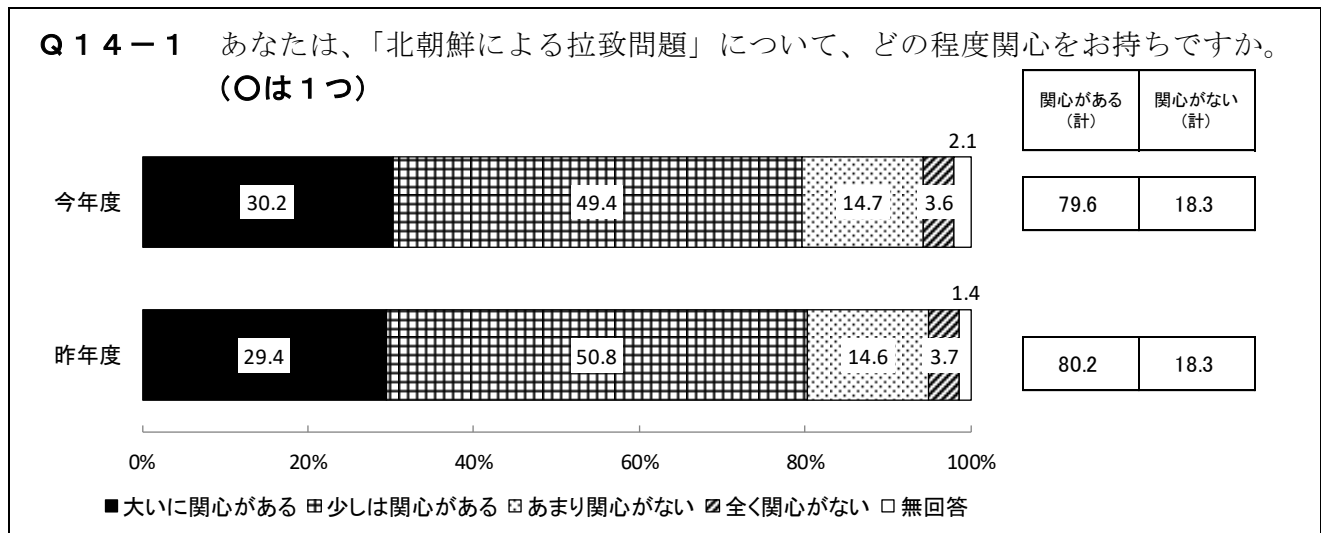


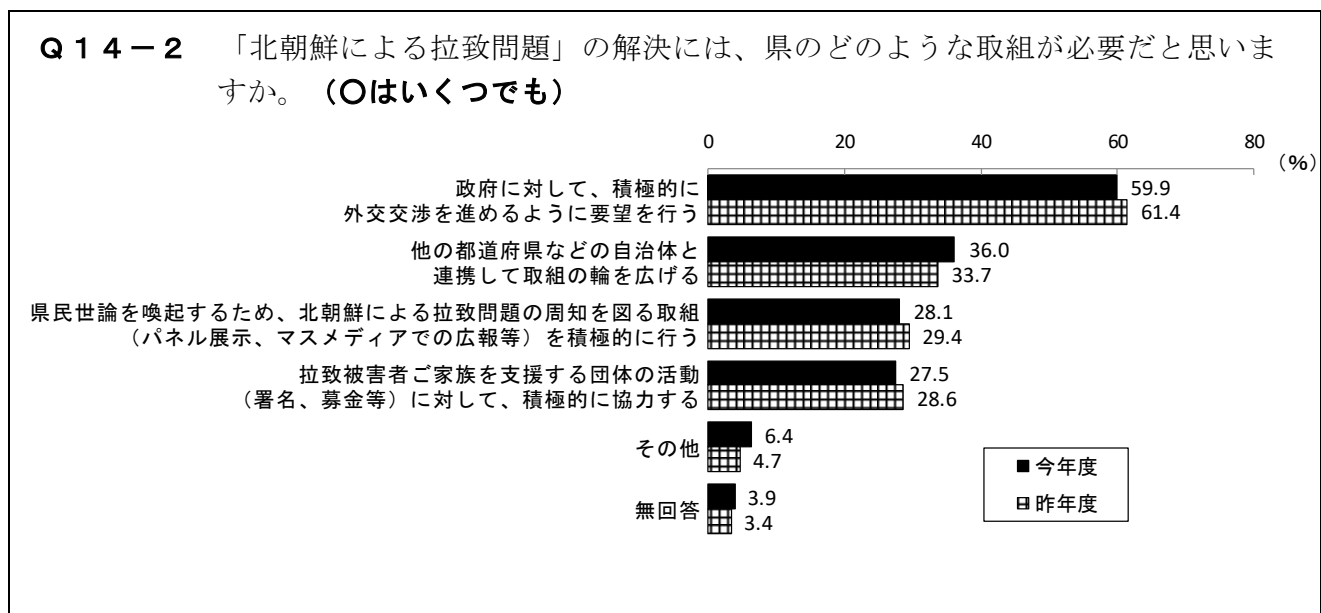
14. 北朝鮮による拉致問題について

14-1. 「北朝鮮による拉致問題」についての関心



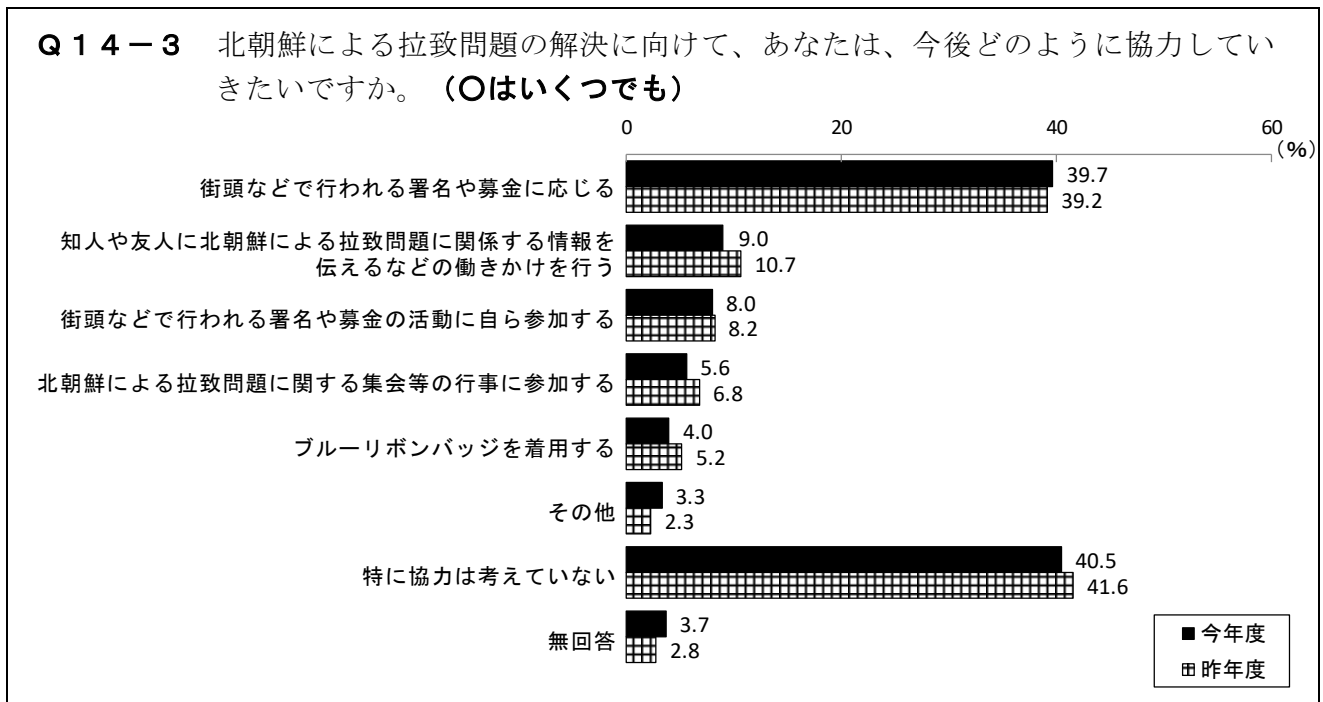
「北朝鮮による拉致問題」について、「大いに興味がある」と「少しは興味がある」を合わせた『関心がある(計)』が79.6%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が18.3%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較しても、差はみられなかった。

14-2. 「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組



「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組について、「政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う」が59.9%と最も高く、次いで「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が36.0%の順となっている。昨年度と比較すると、「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が2.3ポイント上昇している。

14-3. 北朝鮮による拉致問題の解決に向けての今後の協力



「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて今後協力していきたいことについて、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が39.7%と最も高く、次いで「知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う」が9.0%、「街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する」が8.0%、「北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する」が5.6%、「ブルーリボンバッジを着用する」が4.0%の順となっている。また、「特に協力は考えていない」は40.5%となっている。昨年度と比較すると、すべての項目で差はみられなかった。